

第21回 アジア獣医師会連合(FAVA)大会

[連携開催] 第40回 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和4年度)

ONE HEALTH APPROACH FROM ASIA 2022 FAVA



会期

2022年
11月11日(金)~13日(日)

会場

ヒルトン福岡シーホーク
〒810-8650
福岡県福岡市中央区地行浜2-2-3

大会長

藏内 勇夫

[公益社団法人日本獣医師会 会長]

会場案内

ヒルトン福岡シーホーク | 〒810-8650 福岡県福岡市中央区地行浜2-2-3 ☎092-844-8111



参加費・参加登録期間

大会HP <https://fava2022.com>

参加登録は上記大会ホームページの「参加登録・宿泊予約」メニューよりお申込みください。

	第1次登録 (2022年8月1日正午締切)	第2次登録 (2022年9月30日正午締切)	当日登録 (2022年10月1日以降)
獣医師会 会員	全日 30,000円 1日 20,000円	全日 40,000円 1日 25,000円	全日 50,000円 1日 30,000円
学生	全日 8,000円		
動物看護師	全日 10,000円		
同伴者	全日 8,000円		
上記以外	全日 50,000円 1日 30,000円		
ガラディナー	8,000円		10,000円

参加登録に関するお問合せ先

第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会 /
第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会
(令和4年度) 登録事務局

株式会社日本旅行 九州法人営業部内
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1-5F
TEL: 092-451-0606 FAX: 092-451-0550
E-mail: fava_fukuoka@nta.co.jp

プログラム等のご紹介について

第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会と第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和4年度)が、2022年11月11日から3日間、福岡市のヒルトン福岡シーホークにて同時開催されます。FAVA大会にご登録いただきますと、日本獣医師会獣医学術学会年次大会や関連行事(一部有料)にもご参加いただけます。

1 第21回FAVA大会

- 開会式、記念講演
開会式では、世界獣医師会(WVA)のラファエル・ラガンス会長や日本政府の関係省庁大臣、福岡県知事、福岡市長のご臨席が予定されています。また、開会式後は、ノーベル生理学・医学賞を受賞された本庶佑先生による「免疫チェックポイント阻害因子の発見とがん治療への応用」の記念講演が行われます。
- 特別シンポジウム
「アジアからのワンヘルスアプローチを考える」と題して、ワンヘルスに関連する国内外の最先端の取り組みについて報告がなされます。
- 招待講演
国内外の著名な研究者に、小動物臨床や乳牛の生産病など、獣医学領域の10分野についてのご講演をお願いしています。
- 一般講演
FAVA各国の獣医師による最新の研究・活動のご講演を予定しています。2022年2月から公募を始め、同年6月に選考します。
- 閉会式及び福岡宣言の採択
大会の最終日に、特別シンポジウムで議論された内容を踏まえて、今後のアジアにおけるワンヘルス活動の指針となる「アジアワンヘルス福岡宣言2022」が発せられる予定です。

2 第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和4年度)

シンポジウム、教育講演が開催されるほか、各地区学会において受賞された講演が行われ、その中から日本獣医師会獣医学術賞「獣医学術学会賞」が選出されます。

3 ガラディナー

FAVA大会にご参加いただいた方の懇親を深めるため11月12日夜に、美味しい福岡県産の食材を使ったディナーを予定しています。(有料)

4 県内バスツアー

大会の開催期間中に福岡県内のワンヘルスを実感できる見学ツアーを予定しています。(有料)

5 協賛企業の展示

ご協賛いただいた関連企業の展示ブースを大会期間中、常設します。

6 ランチョンセミナー

関係企業のご支援により、ランチを召し上がっていただきながらのセミナーを開催します。

アジアからのワンヘルスアプローチ

～動物と人の健康は一つ。それは地球の願い～



第21回
アジア獣医師会連合(FAVA)大会
大会長 藏内 勇夫
[公益社団法人日本獣医師会 会長]

第21回 アジア獣医師会連合(FAVA)大会の開催によせて

ワンヘルスをご存じですか？

アジア獣医師会連合(FAVA)は日本をはじめとするアジア・オセアニア地域23カ国・地域の獣医師会の連合組織であり、第21回FAVA大会は、ワンヘルスをテーマとして開催いたします。ワンヘルスの理念は、地球の持続的発展を図る上で人の健康、動物の健康、環境保全の三者は欠かすことができないとするもので、獣医師、医師、環境分野の研究者等の関係者が緊密な協力関係を構築して活動し、人獣共通感染症、薬剤耐性菌等の課題の解決を図るものです。この記念すべき大会に、多数の獣医師の方々やワンヘルスを推進する上での協力者である医療関係者、環境問題の研究者の方々、さらに市民の方々のご参加を期待しています。

主催 公益社団法人日本獣医師会 アジア獣医師会連合 共催 福岡県 福岡市

運営 株式会社 電通九州

お問合せ 第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会 運営準備室 〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2-6-5 天神西通り館6F

TEL 092-715-0633 FAX 050-3730-8614 E-mail info@fava2022.com



11月11日(金)

第1会場	午前	開会式 開会挨拶 ◎ 藏内 勇夫[日本獣医師会会長・FAVA会長(現FAVA副会長)] 来賓挨拶 ◎ ラファエル・ラガンス[WVA会長]、農林水産大臣、厚生労働大臣、環境大臣、福岡県知事、福岡市長 記念講演 免疫チェックポイント阻害因子の発見とがん治療への応用 ◎ 本庶 佑[2018年ノーベル生理学・医学賞]
	午後	特別シンポジウムPart I アジアからのOne Healthアプローチ COVID-19とワンヘルス 1. 新型コロナウイルス感染症の臨床及び診断的特徴 2. 新型コロナウイルスを含む新興ウイルス感染症の病理 3. 新型コロナウイルスを含む動物由来感染症 4. 新興感染症の征圧を目指して 特別シンポジウムPart II アジアからのOne Healthアプローチ 人と動物の共通感染症とワンヘルス 1. 狂犬病の対策におけるワンヘルスの実践と課題について 2. アジアにおける新興ダニ媒介性ウイルス感染症 3. 鳥インフルエンザの現状と課題 4. アジアにおける蚊媒介性感染症の現状と課題

第2会場	午前	開会式・記念講演サテライト会場
	午後	招待講演2-1 小動物診療の最新技術 <小動物獣医療へのmicroRNAの診断的応用> 1. microRNAを用いたイヌ悪性腫瘍における早期診断法の確立 2. イヌとネコの尿中に出現するmicroRNAの意義 招待講演2-2 小動物診療の最新技術 <小動物の腫瘍療法の最前線> イヌ悪性黒色腫に対する免疫チェックポイント阻害薬の臨床研究

第3会場	午後	招待講演8 野生動物/展示動物 <保全医学の観点を踏まえた野生動物対策> 1. OIE野生動物保全プログラムー アジア太平洋地域における野生動物保全の意義 2. 野生動物の健全性とワンヘルスアプローチ <希少種保全における獣医師の役割> 動物園における獣医師の役割ー 生物多様性と地球環境保全への取り組み 招待講演9 動物福祉(アニマルウェルフェア) <各国における動物福祉法制> 1. 日本の動物福祉の現状について 2. 動物福祉の評価方法 3. 動物福祉における獣医師の役割
------	----	--

11月12日(土)

第1会場	午前	特別シンポジウムPart III アジアからのOne Healthアプローチ 薬剤耐性(AMR)とワンヘルス 1. 特別講演 獣医療分野における薬剤耐性菌対策の国際的な取り組み状況 2. 特別講演 人ー動物連関で創られる Pandemic, Silent Pandemic 薬剤耐性(AMR)とワンヘルス シンポジウム:アジアにおける動物由来薬剤耐性菌の現状と課題 <小動物医療分野> 日本の伴侶動物分野における薬剤耐性菌の現状と課題 <小動物医療分野> タイ国の伴侶動物分野における薬剤耐性菌の現状と課題 <生産動物医療分野> 日本の食用動物分野における薬剤耐性菌の現状と課題 <生産動物医療分野> 韓国の食用動物分野における薬剤耐性菌の現状と課題 <環境分野> 薬剤耐性菌のヒトに至る経路としての環境の重要性
------	----	--

第2会場	午前	招待講演2-5 小動物診療の最新技術 <小動物の慢性腎臓病の薬物療法ー理論と実践ー> 1. 慢性腎臓病の薬物療法における治療戦略 2. 慢性腎臓病に対するRAS抑制薬の使い方 3. 慢性腎臓病における微小循環改善の意義 招待講演2-6 小動物診療の最新技術 <小動物の痒みに対する診断アプローチ:犬と猫の違い> 1. 犬猫の皮膚感染症 2. 犬猫のアレルギー性皮膚炎
	午後	招待講演2-3 小動物診療の最新技術 <小動物の心臓外科の進展> 1. 小動物の心臓外科の進展 2. 日本における犬の僧帽弁修復術 3. イギリスにおける心臓外科手術



11月12日(土)

第3会場	午前	招待講演4 家畜伝染病対策 1. 日本の豚飼養農場と野生イノシシにおける豚熱の発生 2. 韓国におけるアフリカ豚コレラの発生と防疫対策 3. アフリカ馬疫: タイにおける発生の教訓
	午後	招待講演3 畜産分野のICT / AI活用 <畜産分野におけるICT(情報通信技術)およびAI(人工知能)の活用と展望> 1. 牛群管理におけるICTおよびAIの活用と展望 2. ICTを活用した牛の繁殖管理システム 3. 新規多機能尾部センサと機械学習を用いた牛の繁殖管理技術 4. AIを活用した家畜疾患の早期発見技術の開発
第4会場	午前	招待講演1 環境問題 <海洋プラスチック汚染の現状と対策> 海洋プラスチック汚染ーマイクロプラスチックからマイクロプラスチックまでー 招待講演7 食中毒とその制御 <アジア地域における重要な食中毒とその制御について> 1. Salmonella serogroup Cは公衆衛生上懸念される病原体として考慮すべきか? 2. カンピロバクター食中毒: ASEAN諸国での現状 3. 食中毒菌を制御する新しい技術
	午後	招待講演6 馬の細菌感染症 <馬科学、獣医療における最近の話題「ウマからヒトへ、ヒトからウマへ」> 1. MRSA: 現在の状況と問題点 2. C.difficile: 現在の状況と問題点 3. Rhodococcus equi: 研究の現状と新展開 4. 腺疫: 現在の状況と問題点



11月13日(日)

第2会場	午前	招待講演2-4 小動物診療の最新技術 <小動物の運動器疾患とリハビリテーション> 小動物の運動器疾患とリハビリテーション 招待講演2-8 小動物診療の最新技術 <愛玩動物看護師> 愛玩動物看護師に対する法制度
	午後	招待講演2-7 小動物診療の最新技術 <FASTの応用> 小動物の救急疾患におけるFASTの応用

第3会場	午前	招待講演5 生産病に関する乳牛の最新知見 1. 周産期の飼養管理とSARAに関する最新知見 2. 周産期の疾病管理に関する最新知見 3. 最新の乳房炎の治療と予防の現状と課題
	午後	招待講演10 獣医学教育 <獣医学教育環境の更なる整備充実に向けて> 1. 日本の獣医学教育の歩みと改善への取り組み 2. 獣医学教育改善に向けた北海道大学獣医学部ー帯広畜産大学畜産学部共同獣医学課程の取り組み 3. AVMA認証後のソウル大学獣医学部における獣医学教育の最新動向 4. アジア獣医科学協議会(AAVS): これまでの取り組みと課題、そして今後の方向性

第1会場	午前	特別シンポジウムPart IV アジアからのOne Healthアプローチ 各分野のワンヘルスの取り組み 1. 日本獣医師会におけるワンヘルスの取り組みと期待 ◎ 藏内 勇夫[日本獣医師会会長・FAVA会長(現FAVA副会長)] 2. 世界医師会と日本医師会におけるワンヘルスの取り組みと期待 ◎ 横倉 義武[第68代世界医師会会長・日本医師会名誉会長] 3. 世界獣医師会におけるワンヘルスの取り組みと期待 4. アジア獣医師会連合におけるワンヘルスの取り組みと期待 ◎ バンバン・ポンチョ・ペオステリアンテ[FAVA事務局長・ボゴール農科大学 教授] 5. OIEにおけるワンヘルスの取り組みと期待 6. WHOにおけるワンヘルスの取り組みと期待
	午後	7. 日本の獣医学教育におけるワンヘルスの取り組みと期待 8. 福岡県におけるワンヘルスの取り組みと期待 ◎ 草場 治雄[福岡県獣医師会 会長] 9. ワンヘルスを学んで(勉強して)思う (福岡県高校生・市民団体) 特別シンポジウムPart V まとめ 1. アジアからのワンヘルスアプローチのコメント及び期待 ◎ アチャリア サイラスタ[FAVA バンコク事務所所長・チュラロンコン大学 教授] 2. 大会宣言アジアワンヘルス福岡宣言2022 提案説明・採択、調印 閉会挨拶 ◎ 藏内 勇夫[日本獣医師会会長・FAVA会長(現FAVA副会長)]

